

# なるかみ通信



鳴神響一のきまぐれニューズレター 第1号

VOL. 1 / 第1版

2018年11月6日

## カニサレス氏来日公演 (9.28)



9月28日、めぐろパーシモンホールで開催されました「カニサレス・フラメンコ・クインテット」の東京公演にお招き頂きました。

フアン・マヌエル・カニサレス氏は、世界的なフラメンコ・ギタリストとして知られ、サイモン・ラトル指揮バルリン・フィルハーモニー管弦楽団のとの共演でも名高いアルティスタです。

今回の公演はセカンド・ギターとパルマに加え、二人のバイレも参戦しての大変に華やかなステージでした。

その完璧なテクニックに酔いしれ、気品ある豊かな音楽性にところが震えっぱなしの舞台でした。

公演終了後はご挨拶をさせて頂くこともでき、とても感激しました。

カニサレスさま、奥さまの小倉 真理子さま、心より感謝申し上げます。

## 第10回角川春樹小説賞授賞式 (10.1)

樹事務所 創立22周年記  
『角川春樹小説賞授賞式』



10月1日、角川春樹事務所創立22周年記念祝賀会と第10回角川春樹小説賞の授賞式に出席させて頂きました。

授賞式とパーティーは永田町のザ・キャピトルホテル東急「鳳凰の間」で、今年も盛大かつ華やかに開催されました。

第6回で受賞させて頂いた僕にとっては5回目の出席となります。

第10回は、今村翔吾さんの歴史小説『童の神』が受賞なさいました。

今村さんは昨年春に『羽州ぼろ鳶組 火喰鳥』でデビューされ、シリーズは全巻大重版となり、その後リリースされた各作品も大人気を博しています。

受賞作は、このほど角川春樹事務所より刊行となりました。

今村さん本当におめでとうございませう！

## 第6回野村胡堂文学賞授賞式 (10.4)

日本作家クラブ  
『堂文学賞授賞式』



10月4日、(社)日本作家クラブ主催の第6回野村胡堂文学賞の授賞式に、第4回受賞者としてお招き頂きました。

本年度は、日頃よりお世話になっている秋山香乃先生の『龍が哭く』(PHP出版)が受賞なさいました。

幕末の長尾藩家老、河井継之助の生涯を描く素晴らしい歴史小説です。

授賞式は、銭形平次ゆかりの神田明神で開かれ、楽人が奏でる雅楽が響くなか、まずは本殿への正式参拝に続き、隣接する明神会館長生殿で開かれた授賞式&祝賀会には、今年もたくさんのお客さまがお見えになり、華やかに盛り上がりました

秋山先生、本当におめでとうございませう！

## 『能科学捜査官 真田夏希』 第10版！ (10.26)



感謝です！『脳科学捜査官 真田夏希』の10版が26日に重版出来です！しかも今回は部数も多いです。

毎月、重版が続いて、真田夏希に出逢ってくださる読者の方が増えて、作者としてはこんなに幸せなことはありません。

全国の読者さま、書店員さま、取次の皆さま、KADOKAWAの皆さま、夏希とアリシアを応援して下さいましたすべての皆さまに心より御礼申し上げます。

Facebookやツイッターで応援して下さいました皆さま、本当にありがとうございます！これからも夏希をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。